

# いきいき交流センターあかしあ 10月1日開所！

問合せ／同センター(☎307-4426)  
または市高齢福祉課(☎232-9174)



高齢者が、レクリエーション活動などにより、生きがいつくり、健康づくりができます。また、日常的に多世代交流ができる場所もあり、子育て中の方も利用できます。ぜひ、利用してください。

所在地／河和田3丁目2274-1

開所時間／個人利用…午前9時～午後5時 団体利用…午前9時～午後9時(日曜日は午後5時まで)

休所日／水曜日(祝日の場合は翌日)、祝日、12月29日～1月3日

主な施設／多世代交流スペース、プレイルーム、入浴施設など

施設使用料／右表のとおり ※多世代交流スペースは無料。入浴施設は、別途1回100円。7回分500円の回数券もあります。



多世代交流スペース



プレイルーム



区分	使用者	施設使用料
個人	市内に居住する60歳以上の方	無料
	市内に居住する未就学児とその保護者	
	市内に居住する60歳未満の方、市外に居住する方	300円
団体	老人福祉センターの事業の促進に寄与すると認める団体	無料
	子育て支援に関する事業の促進に寄与すると認める団体	
	老人福祉センターの設置目的以外に使用する団体	有料 ※部屋・時間帯で異なる。



(左から) 前列…山本真央さん、鈴木吉昭さん  
後列…高野選定委員会委員長、高橋市長



## 8/22 「納豆のまち・水戸」 ロゴマークが決定

市では、納豆の本場としての魅力を発信するため、2～3月に、「納豆のまち・水戸」をイメージできるロゴマークを公募しました。

全国34都道府県295人、498件の応募の中から、水戸市の鈴木吉昭さんの作品が最優秀賞を受賞。山本真央さんと大出光一さんの作品が優秀賞を受賞しました。

8月22日に開催した表彰式で、鈴木さんは、「一目で納豆と水戸が分かるように作りました。受賞できて光栄です」と話しました。

## PHOTO NEWS できごと

### 9/14 水戸市長が100歳の方を激励

市では、長寿と健康をお祝いするために、100歳を迎える方へほう状と記念品を進呈しています。

令和5年度の対象者101名を代表して、安藏マサルさんと小唄良子さんのご自宅を、高橋市長が訪問しました。

長生きの秘訣を、安藏さんは「なんでもやってみよう」と話しました。小唄さんは「家族に支えられて生活すること」と話しました。

高橋市長は「水戸市で一番の長寿を目指してください」とお二人を激励しました。



▲安藏マサルさん



▲小唄良子さん